



2026年3月4日

各 位

会社名 株式会社ジョイフル本田
代表者名 代表取締役社長 平山 育夫
(コード番号 3191 東証プライム市場)
問合せ先 管理本部副本部長 久保 裕彦
(電話番号 029-822-2215)

群馬県内3店舗へ「温室効果ガス排出量ゼロ」の電力を導入 第3弾「地産地消型 PPA (群馬モデル)」電力供給先事業者に採択

株式会社ジョイフル本田（本社：茨城県土浦市、代表取締役社長：平山育夫）は、群馬県が実施する第3弾「地産地消型 PPA (群馬モデル)」の電力供給先事業者に採択され、群馬県内3店舗において県営水力発電所由来の再生可能エネルギー電力の供給を受けることとなりましたので、お知らせいたします。



本モデルは、群馬県が保有する県営水力発電所で発電された再生可能エネルギーを県内事業者が活用する地産地消型の電力供給スキームです。地域内でのエネルギー循環を促進するとともに、温室効果ガス排出量の削減および地域経済の活性化を目的としています。

当社は、2026年4月より3年間、群馬県内3店舗（新田店、千代田店、ジョイホン吉岡店）において本スキームによる再生可能エネルギー電力を導入いたします。豊富な水資源を活用した水力発電所由来の電力は、天候等の影響を受けにくく安定した再生可能エネルギーの一つであり、本スキームが当社の中期経営計画 2026～2028年6月期における環境目標「中長期的なGX計画策定とグリーンエネルギー導入」と合致していることが導入するきっかけとなりました。

対象店舗では、既に屋上太陽光発電設備を導入しておりますが、今回、系統電力についても地産地消型の再生可能エネルギーへ切り替えることで、地域内における再生可能エネルギーの活用拡大および脱炭素化のさらなる推進を図ります。

当社は、企業活動に伴う環境負荷の低減を重要な経営課題と位置づけ、地球環境への配慮と循環型社会の実現に向けた取り組みを推進しています。温室効果ガス排出量については、2013年6月期比で2030年までにScope 1・2を70%削減し、2040年にカーボンニュートラルを達成することを目標としています。

今後も、事業活動に伴う環境負荷の低減に取り組むとともに、地域に根ざした再生可能エネルギーの活用を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以 上